

保護者様

掛川市立原田小学校
校長 山田 正彦

令和2年度「学校アンケート」集計結果のお知らせ

日頃、本校の教育活動に温かい御支援、御協力をいただきありがとうございます。先日はアンケートに御回答いただきありがとうございました。アンケートの結果がまとまりましたのでお知らせします。

【児童アンケートから】

No.	項目	割合(%)
1	勉強(学習)したことがわかる。	82.4
2	自分の考えや気持ちを伝えることができる。	76.5
3	本を読むことは好きだ。	76.1
4	「学年×10分+10分」の家庭学習をしている。	91.2
5	友だちや先生の話最後まで聴いた。	88.2
6	やる気をもって授業に取り組んでいる。	89.7
7	自分の考えを進んで発表することができる。	80.6
8	言葉の意味がたくさんわかるようになった。	83.8
9	授業の中で「とことんやりぬいた。」という気持ちになったことがある。	77.9
10	学校では「さん」をつけて呼んでいる。	50.0
11	友達の良いところを見つけている。	85.3
12	自分から進んであいさつすることができている。	91.2
13	上級生や下級生、友達に優しくしている。	94.1
14	学校は楽しい。	76.5
15	「だいじ」掃除を進んで行っている。	91.2
16	学校のできごとを家の人によく話している。	77.9
17	自分には良いところがある。	83.8
18	自分で考えて行動することができた。	89.6
19	スポーツフェスティバルや持久走記録会などの行事や毎日の生活の中で「とことんやりぬいた。」という気持ちになったことがある。	86.8
20	先生はがんばったことや良いところをほめたりはげましたりしてくれる。	91.0
21	困ったときに相談できる人がいる。 (家の人・先生・友だちなど)	82.4
22	めあてに向かって運動している。	92.6
23	健康を意識して生活している。	82.4
24	交通ルールを守って生活をしている。	89.7
25	腰骨をたてた姿勢で座ることに気を付けている。	70.6

【保護者アンケートから】

No.	項目	割合(%)
1	うちの子どもは学校を楽しみにしている。	86.6
2	うちの子どもは授業で学習したことが分かる。	94.0
3	学校は「実験」「観察」「校外への見学」など体験を重視した授業を行っている。	100.0
4	学校は地域の方から学ぶ機会をつくっている。	95.6
5	学校は子どもたちの生活や学習にふさわしい教育環境作りに積極的に取り組んでいる。	95.5
6	原田小は子どもたちの健康や安全に配慮した教育活動を行っている。	92.5
7	原田小の子どもは上級生と下級生と仲が良い。	98.5
8	うちの子どもは自分から進んで挨拶をしている。	83.6
9	うちの子どもは学校で自分の考えや思いを伝えることができる。	79.4
10	原田小の職員は一人一人の良さを見つけ伸ばしている。	95.6
11	「eじゃん掛川」などのホームページ、学校便り、学級便りの発行や教育相談日、授業参観等で、学校の様子は十分伝わっている。	97.1
12	家庭で子どもとふれあう時間を多くとっている。	91.2
13	うちの子どもは本を読むことが好きだ。	64.2
14	PTA会員としてPTA活動に積極的に参加している。	92.5
15	保護者として、子どもが安全に登下校できるように声かけや交通指導などに取り組んでいる。	86.8
16	うちの子どもは、「学年×10分+10分」の家庭学習をしている。	75.0



※割合(%)は、A「はい」B「どちらかというとはい」の合計(以下“肯定的回答”を示しています。

太字のマスは、肯定的回答が90%以上の項目です。

黒塗りのマスは、肯定的回答が70%以下の項目です。

集計結果の考察

(1)成果

児童アンケートから

- ・「**上級生や下級生、友達に優しくしている。**」が94.1%と高い数値になっています。小規模の学校であれば、必ず高いという訳ではありません。上級生が積極的に声をかけ、下級生はそんな上級生を見習い、友達などに優しくしてきた良い伝統が続いているからであると考えます。引き続き伸ばしていきたい原田小の自慢です。
- ・「**めあてに向かって運動している。**」が92.6%と昨年度より大きく伸びています。これは、毎朝運動場を3周以上走るという取組について今年度改めて見直したからであると考えられます。走った周数をカードに記録したり、月ごとに多く走った子を称揚したり、“東京まで走ろう”と呼びかけて取り組んできた成果が現れたものであると考えます。自信を深めた子どもたちは、より大きく運動場を目一杯使って走ったり、ひょうたん島をコースに取り入れて起伏のあるコースを走ったりと、自分たちで工夫して体力を高めようとする自主性も高まってきました。今度も引き続き体力作りに励む子どもたちを伸ばしていきます。
- ・「**「学年×10分+10分」の家庭学習をしている。**」は91.2%でした。これは今年度休校期間がある中でも、御家庭で声をかけていただいたり、はげましたりしていただいたおかげであると感じています。来年度は「iPad」が全児童に配布され、御家庭に持ち帰ることもあります。ぜひ親子で一緒に学習に取り組み、お子さんの成長を感じていただけたらと思います。

保護者アンケートから

- ・「**体験を重視した授業**」「**地域の方から学ぶ機会**」については、少人数である良さを生かし、感染症対策を行いながら、通常に近い形で授業を行うことができたことに対する評価かと思われまます。まだ感染症対策が必要な状況は続くものと思われまますが、保護者の方々、地域の方々に御協力いただき、子どもたちが主体的に学習に臨めるように実験や観察、見学等の体験を踏まえた学習を行っていきます。
- ・「**うちの子どもは授業で学習したことが分かる。**」は94.0%でした。昨年度の同項目87.7%と比較すると大幅に上がったことが分かります。これは休校中や休校明けも学校と家庭が一体となって学習に取り組めた成果です。引き続き、学校と家庭とで連携を取り合い、教育活動を進めていきます。

(2)課題

- ・「**学校では『さん』付けて呼んでいる。**」は、50.0%でした。昨年度の36.8%よりも改善が見られるものの、積極的に取り組んでいきたい項目です。男女共同参画、一人一人を大切にしたい人権意識の構築のために「さん」付けは大切であると考えています。この取組は、原野谷学園全体でも取り組んでいることです。教職員はもちろん、全校一体となって「さん」を付け、一人一人を大切に育んでいきます。
- ・「**本を読むことが好き**」であることについて、学校では“朝読書”“原田っ子読み聞かせ”“教師による読み聞かせ”等で本に親しむ機会を作っています。毎月記録している読書冊数のカードを称揚の一つとするとともに、いろいろな本に触れあい、読書の幅を広げ、好きな本と巡り合えるよう、様々なジャンルの本を読ませることもしていきたいと考えています。

学校運営協議会委員から

- ・小規模の学校なので、あまり数値にこだわらず、実際の子どもの姿で評価していけばよい。
- ・感染症拡大防止のための休校があったり、休校明けも様々な対策を取らねばならなかったりする状況の中で、皆出席の日数が100日を超えているのが一番の答えなのではないか。安心して学校に送り出せる雰囲気を作ってくれている。
- ・児童が積極的に取り組んでいることが授業や掲示などからよくわかった。

担当 教務主任(森下)
電話番号 26-0061